本がすきなひとへ



しかく<u>いののじかん</u> (E ‡)

パメラ・ポール/ぶん, ベッキー・ キャメロン/え, ギョウ・ヤマグチ/やく イマジネイション・プラス

「しかくいののじかん」がはじまると、お交さんは「しかくいの」を見てちいさなおとこの字におはなしをしています。やがておとこの字は焚きくなっていき…。 成長とともに茶の楽しみかたがかわっていくようすを、ネコのめせんでえがきます。

としょかんねずみ (E か)

ダニエル・カーク/さく、わたなべ てつた/やく 端雲舎

サムはとしょかんの小さなあなのなかにすんでいるねずみです。本をよむのが大すきなサムは、あるとき首分で本をかいてみることにしました。よるのうちにかいた本をとしょかんの本だなに入れておくと、たちまち大人気に。としょかんの人たちは、サムがだれなのか知りたがりますが…。

図書館ラクダがやってくる (015 ル)



マーグリート・ルアーズ/著 斉藤規/訳 さ・え・ら書房 としょかんときくと、みなさんはどんなと ころをそうぞうしますか? じつは、せかい

にはいろんなとしょかんがあるそうです。この歌には、「童」に歌をつんではこぶとしょかんや、ふねのとしょかん、ラクダやロバ、ゾウのとしょかんなどがしょうかいされています。 写賞もたくさんあるので、 見るだけでもたのしめますよ。

ステラのえほんさがし (E I)

リサ・キャンベル・エルンスト/作 藤原 宏之/訳 童心社

ステラはとしょかんでかりた茶をなくしてしまいました。今日中に返さなければしかられてしまうとあわてたステラは、茶をさがしに出かけます。茶は人づてにどこかへ行ってしまったようで、やがて斬のみんなをまきこんでいきますが…。さて、茶はぶじに見つかるのでしょうか?

もりのとしょかん (E フ)

ふくざわ ゆみこ/作・絵 学研プラス

もりのおくにすんでいるふくろうは茶がだいすき。でも、ふくろうのいえをたずねるひとはだれもいませんでした。ところが、うさぎの子ときつねの子がまよいこんだことから、ふくろうのうちにあるたくさんの茶をよみに、もりのみんながあつまるようになって…。

ふくろうのすてきなおうちをぜひ見てみてくださいね。

<u>図書館に児童室ができた日</u> (E 7)

ジャン・ピンボロー/文, デビー・アトウェル/絵 はなき 恵子/訳 徳間書店

むかし、としょかんには字どものためのへやがありませんでした。そんな節、アメリカではじめて字どものための「児童室」をつくった人がいました。これはそのアンという安性の 人生をえがいた経本です。アンはとしょかんを字どもがたのしめるばしょにするために、どんなことをしたのでしょうか。

<u>すごいぜほんのちからって!</u> (E サ)

ディディエ・レヴィ/ぶん, ロレンツォサンジョ/え, はしづめ ちよこ/やくイマジネイション・プラス



ネコのモーリスは、おはなしをよんでネズミをおびきよせ、 つかまえようとしましたが、おはなしをよんでいるうちに、ネ ズミたちといっしょに本にむちゅうになってしまいます。やが てモーリスは、首分でもおはなしをかんがえるようになり…。

としょかんライオン (E ホ)

ミシェル・ヌードセン/さく, ケビン・ホークス/え.



減した ゆ み こ いわさきしょてん 福本 友美子/やく 岩崎書店

ある $\stackrel{\circ}{\rm D}$ 、としょかんにライオンがやってきました。ライオンは としょかんでくつろいで、おはなしのじかんには $\stackrel{\circ}{\rm Z}$ どもたちといっしょにおはなしをたのしみました。さいしょはびっくりした $\stackrel{\circ}{\rm C}$ たちも、しだいにこのライオンのことが好きになりますが…。

<u>ルリユールおじさん</u> (E イ)

いせ ひでこ/作 理論社

大すきなずかんがこわれてしまい、女の子は本をなおしてくれるルリユールおじさんをたずねます。ルリユールおじさんは、いちど本をバラバラにして、またとじなおすしごとをはじめました。こわれた本はどのように生まれかわるのでしょうか。

「ルリユール」はフランスでながくつづいてきたしごとです。 そのしごとのようすや、本を大切に思うきもちがていねいにえがかれていて、かみの本がすきな人にはとくにおすすめです。